

やちよ 上下水道だより

第22号
平成29年
(2017年)
3月15日

●給水人口 193,956人
●給水普及率 99.1%
●下水道処理区域内人口 179,806人
●下水道普及率 91.9%
(平成28年9月30日現在)



災害に強い上下水道をめざして

災害は、いつ、どこで起きるかわかりません。まだ記憶に新しい平成28年4月の熊本地震では、配水管の破損などにより広範囲にわたり断水が発生しました。八千代市上下水道局では、このような災害の発生に備え、毎年、防災訓練等を実施し、職員の危機管理意識と対応能力の向上を図るとともに、応急対応に必要な資機材を備えています。今後も、過去の教訓を活かし、災害に強い上下水道となるよう努めてまいります。

地震発生を想定した訓練を実施しました



▲給水タンクの積み込みから応急給水までの一連の作業を確認



▲停電により稼働停止したマンホールポンプに発電機を接続する復旧作業を確認

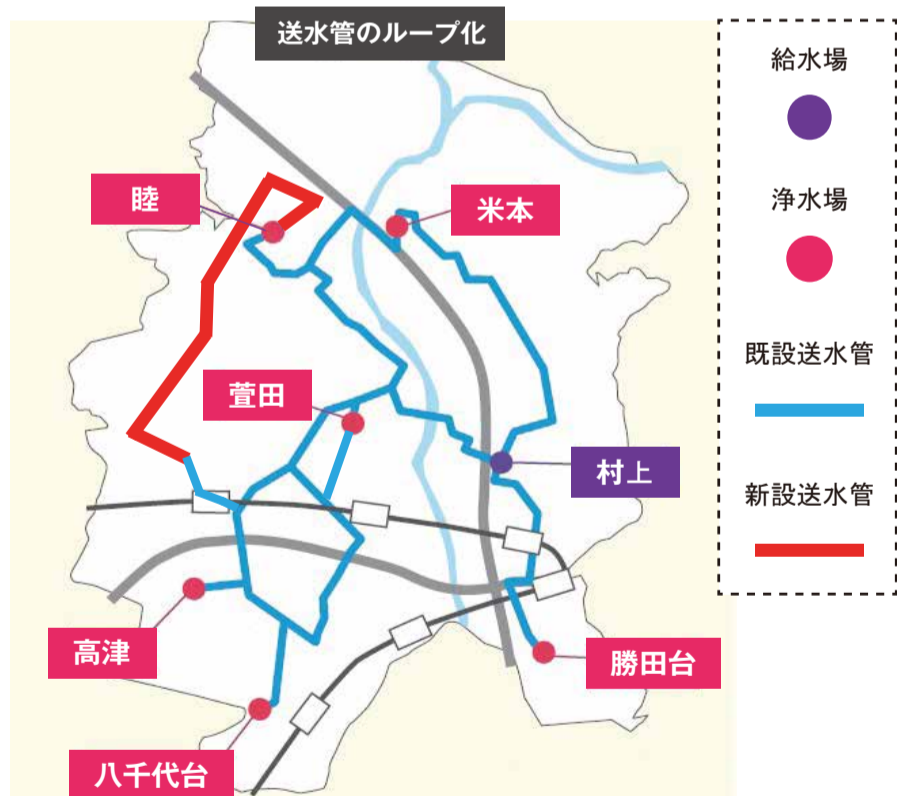
震災などの緊急時に職員が応急活動を迅速かつ的確に行えるよう、昨年7月に防災訓練を実施し、今年1月は災害対応訓練を実施しました。

1月の訓練では、本市で最大震度6強の地震が発生し、配水管の損傷により700世帯が断水した状況及び下水道施設のマンホールポンプが停電により停止した状況を想定した初動対応・応急復旧訓練を行いました。

西八千代方面に送水管が整備されたことにより、災害時に安定した水道水の供給が可能となります

市内7箇所の浄・給水場間を大口径の送水管でつなげ、ループ化することにより、災害などで一部の施設が損傷し、送水ができなくなった場合に他の施設から送水することができます。

睦浄水場から西八千代方面へつながる送水管の整備が今年度をもって完了しましたので、災害時にさらに安定した水道水の供給が可能となります。現在、使用開始に向けて準備を進めています。



災害時に活躍します

給水車・給水タンク



▲給水車による給水



▲給水タンクをトラックに載せる

上下水道局庁舎には、2,000リットルの飲料水を供給できる給水タンクを搭載した給水車があります。

また、1,000～2,000リットルの飲料水を供給できる給水タンクを23基所有しており、災害時には右の写真のようにトラックに給水タンクを載せて、給水活動を行います。

災害用井戸

市内の各小・中学校34校には災害用井戸が整備されており、停電時でも非常用発電機により水の供給が行えるようになっています。



非常用給水袋

災害時に市民の皆様へ水を配るための袋です。6リットルの水を入れることができ、手提げのように持ちたり、付属のベルトを使用してリュックサックのように背負うことができます。上下水道局では15,000袋を常備しています。



その他の設備

- 非常用発電機
市内の浄・給水場の6箇所には、停電時でも備蓄した燃料により必要な電気を確保し、施設を動かすことができるよう、非常用発電機が整備されています。
- 緊急用貯水槽
市内2箇所に、100m³の容量(約1万人×3日分を賄える水量)を持つ貯水槽が設置されています。災害時には、この貯水槽から給水を行うことができます。
- 備蓄水
災害に備え、500mlのペットボトル飲料水を15,000本常備しています。

災害時の断水に備え、ご家庭でできること

発災直後は、上下水道局をはじめ多くの公共機関が混乱していることが予想されますので、普段から各家庭での災害に対する準備が必要です。

水道水の備蓄

・1人1日3リットル×家族の人数×3日分が目安です。

【備蓄方法】

- ①清潔でふたのできる容器(ポリ容器やペットボトル等)に、できるだけ空気に触れないよう、口元までいっぱいに入れてください。
- ②沸騰させたり、浄水器を通すことで、水道水の塩素の効果がなくなることがありますので、そのままの水道水を容器に保存してください。
- ③水道水の入った容器は直射日光が当たらない風通しの良い場所で保管してください。夏季は3日間、冬季は5日間を目安に入れ替えをしましょう。

応急給水容器の準備

・飲料水を確保する清潔なポリ容器等を備えておきましょう。給水車から給水を受けるときなどに役立ちます。

お風呂の残り湯の有効活用

・お風呂の残り湯は、災害による断水時には消火用水、トイレの流し水などの様々な用途に使うことができ、いざという時に役立ちます。



経営戦略に基づいた取組みを平成29年度も実施していきます

経営戦略とは？

八千代市上下水道局は、公営企業として独立採算の原則に基づき、お客様の水道料金・下水道使用料を主な収入源として、水道・公共下水道事業を運営しています。今後、人口減少等による料金収入の減少や、サービスの提供に必要な施設の耐震化・老朽化対策に伴う事業費の増大が見込まれるなど、事業を取り巻く環境は年々厳しくなっています。

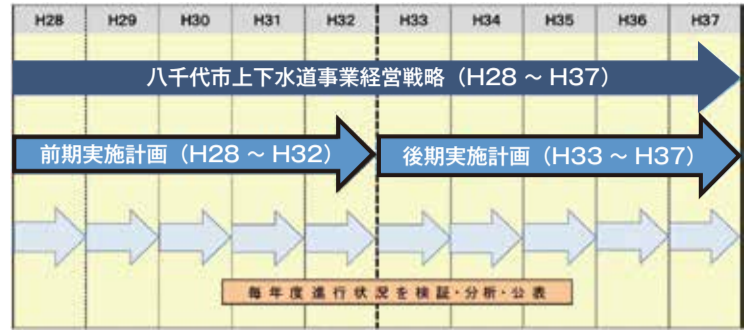
このため、将来にわたって健全かつ安定的に事業を継続していくために、平成28年度から平成37年度までの10年間を計画期間とし、今後の課題に向けた基本方針や取組みを示した「八千代市上下水道事業経営戦略」を平成28年3月に策定しました。

また、経営戦略に掲げた基本方針に基づく事業や取組みを確実に実行し、進行管理を行っていくために、平成28年度から平成32年度までの年度ごとの取組み内容や活動指針などを示した「八千代市上下水道事業経営戦略 前期実施計画」を平成28年7月に策定しました。平成29年度の事業につきましては、この経営戦略及び前期実施計画に基づいた形で実施してまいります。

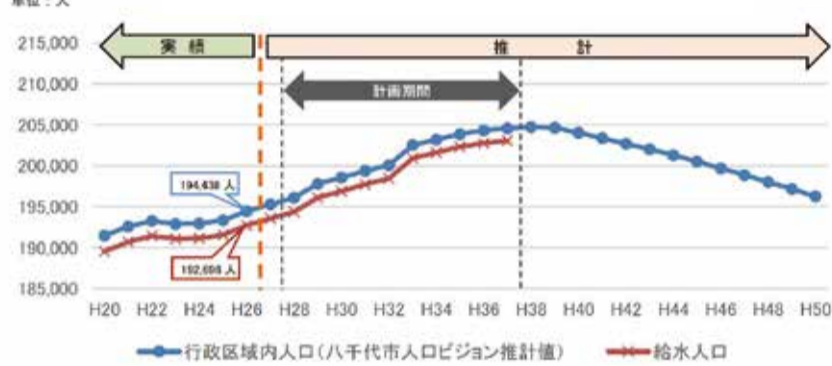
なお、経営戦略及び前期実施計画は、市のホームページから閲覧することができます。

⇒ <http://www.city.yachiyo.chiba.jp/800500/page100074.html>

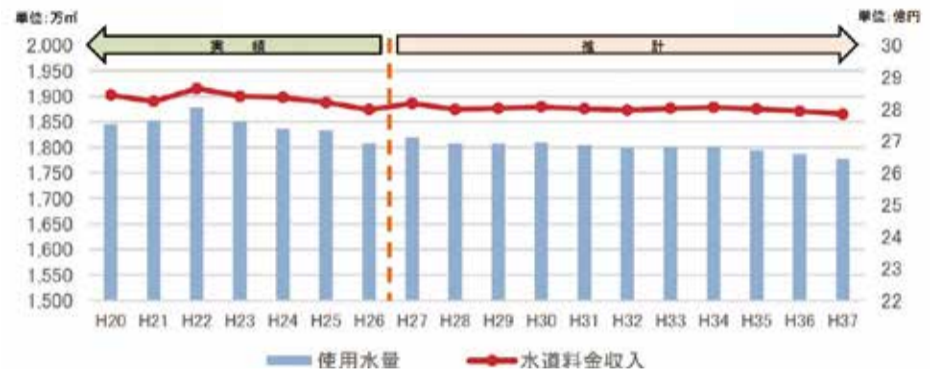
【経営戦略の計画期間】



【行政区域内人口・給水人口の推移予測】



【使用水量・水道料金収入の推移予測】



平成29年度に実施を予定している主な取組み

	前期実施計画における取組・施策名	取組内容
水道事業	浄・給水場の統廃合の検討	・水道施設再構築基本計画を策定します 施設の更新に係る投資の合理化を目的として、7つある浄・給水場の統廃合について検討を行います。
	浄・給水場の耐震化・老朽化対策	・村上給水場施設改良工事の基本設計を行います 老朽化が進んでいる村上給水場の改良工事を行うため、施設の状況調査、配置計画、施工方法等の検討を行います。
	水道管路の耐震化・老朽化対策	・配水管改良(石綿セメント管更新)工事を行います 約17,700mの耐震性の低い石綿セメント管等を耐震性の高いダクタイル鋳鉄管に取り替える工事を行います。
公共下水道事業	汚水施設の整備拡充	・吉橋処理分区分水管渠築造工事を行います 公衆衛生の向上や河川等の水質保全を図るため、吉橋工業団地を中心とした区域に延長約725mの汚水管を築造する工事を行います。
	雨水施設の整備拡充	・八千代1号幹線浸水対策として調整池築造工事を行います 大雨時の浸水被害を軽減するため、大和田南小学校の校庭の地下に平成29・30年度の2か年で調整池を築造します。

安全でおいしい水道水を毎日お届けしています

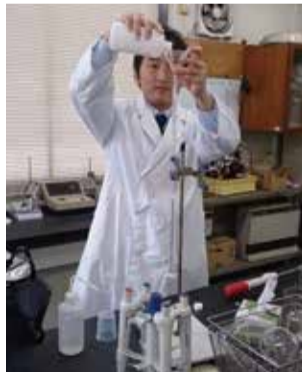
八千代市の水道水は、水道法で定められた水質基準を全て満たしている安全でおいしい水道水です。安全な水道水をお届けするため、水道水源から浄水場、各家庭の蛇口に至るまでの各段階において、定期的に水質検査を行っています。

この水質検査の項目、場所、回数などは、毎年策定している「水質検査計画」の中で定めています。八千代市では、水道法で義務付けられた検査内容はもちろん、法令などで「検査するのが望ましい」とされている内容まで検査をしています。

さらに、放射性物質についても定期的に検査を行っており、平成23年度以降、放射性物質は検出されていません。詳しい内容は、市のホームページから閲覧することができます。

【水道水の水質情報】

<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/802000/page000026.html>



上下水道クイズ

問題：なぜ、マンホールのふたは四角ではなく丸いのでしょうか？

- ①丸い方が、落とした時に壊れにくいから。
- ②マンホール内にふたが落ちないようにするため。
- ③転がして運ぶことができるから。



このクイズは、八千代市上下水道局の広報誌「やちよ」に掲載されています。©2017 八千代市上下水道局

●土日・祝日、夜間の漏水及び給水装置の故障・修理の連絡先
(株)八千代市水道サービス 電話：047-485-6656

●水道の開・閉栓及び水道料金・下水道使用料の問い合わせ先
(お問い合わせの際には ①住所 ②氏名 ③検針票及び納入通知書に記載のある使用者番号をお知らせください)

●インターネットで水道の使用開始・中止の届出ができます。

東京電力エナジーパートナー(株)の「引越れんらく帳」を利用して、インターネットで水道の使用開始・中止の届出ができます。

上下水道局への水道の使用開始・中止の届出だけでなく、引越元・引越先の住所から電気・ガス・水道・電話等の事業者の連絡先を検索し、連携をしている事業者に対して一括で引越手続を行えます。

●引越れんらく帳 <http://hikkoshi-line.jp/>

本紙に関するご意見・ご感想を上下水道局経営企画課までお寄せください。

電話：047-483-6572

Eメール：keiei1@city.yachiyo.chiba.jp

委託先：第一環境(株) 八千代営業所
所在地：八千代市萱田町 535-11 パディービル 1F
営業時間：月～土(日曜・祝日・振替休日・年始(1/1～1/3)は休み)
午前8時30分～午後6時00分
電話：047-483-5403
※長期不在(2か月以上)の際は閉栓のご連絡をお願いします。